

参考：過年度に実施したアンケートの回答例

回答例 1

近年の夏場の気温の上昇により日中ではなく夜に作業を強いられることが増えました。このため夜でも簡単に作業ができるよう照明を漁港につけて欲しいです。

また、漁港内の用地において、定置網の補修作業を実施していますが、太陽光によりアスファルトが熱せられ、とてもではないですが作業になりません。漁港に日陰を作るために屋根の設置や水を出すスプリンクラーの設置によって、網の補修用の用地の温度を下げられるような対策ができないでしょうか。

回答例 2

私が所属する漁港では買受人の減少により、魚価が下がってきている。買受人が減る中で、魚価が維持されるような取組はできないか。

回答例 3

私が所属する漁港は全国でも随一の豪雪地帯に位置しております。このため、冬場には雪が降る中で、漁具を補修するなど非常に重労働となっています。最近、漁港の岸壁に屋根がついたことで、作業が非常にラクになりましたが、これを漁港に広く設置していただきたいです。

回答例 4

過去に整備した冷凍庫が近年の不漁によりほとんど使用されていない状況であり、電気代は変わらずかかるので、毎月の大きな負担。近隣の漁港と冷凍庫の合併を支援願う。

物流会社の減少や撤退が起こっています。集荷時間が早くなり、結果として漁の時間を短くせざるを得ない状況で大きな課題。

回答例 5

海水温の上昇などで、ノリの漁獲量が低迷しているため、漁港の空いた土地を活用し陸上養殖をできないか検討中。陸上養殖を始めるにあたって、漁港に取水可能な設備を導入してほしい。